

3/1 初日

# 114兆円予算案 年度内成立へ

11年連続で過去最大となる総額114兆3812億円の新年度当初予算案は28日、衆院本会議で自民、公明両党などの賛成多数で可決され、衆院を通過した。これまでの審議では、岸田政権が昨年末に方針を大転換させた防衛や原発政策をめぐる政府の説明が不十分との指摘が相次ぎ、野党は

参院でも追及する構えだ。

## ▼4面 || 共闘の機運

予算案は憲法の規定で年度内成立が確定となつた。歳出は前年度当初予算より6兆7848億円増えた。

主要な要因の防衛費は、敵基地攻撃能力（反撃能力）関連経費などを盛り込んで6兆8219億円だった。

「予算成立に向けて緊張感を持つて政府一丸となって審議に臨み、「丁寧な説明を心がけたい」と語った。しかし、立憲民主党の泉健太代表は記者団に対して、防衛政策などに関する首相の説明が不十分だったと指摘。「不明な点が非常に多かった」と述べた。

岸田文雄首相は記者団に

(安倍龍太郎)